

PI結果を踏まえた今後の斑鳩町 下水道事業の進め方について

1. 斑鳩町の下水道事業の進め方について

下水道事業の進め方に対する評価

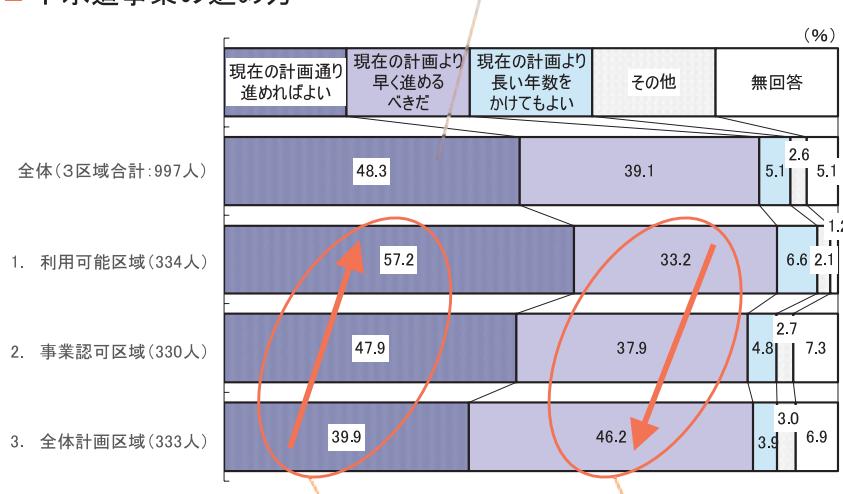
斑鳩町では、平成17年4月から一部の地域で下水道が利用可能となりました。1日も早く多くの住民の皆さんに使っていただけるように事業を進めています。

今回のPIでは、下水道事業の進め方について住民の皆さんがどのように評価しているかを把握するため、意見をうかがいました。

PI実施結果から

【アンケート調査結果より】

■ 下水道事業の進め方



「現在の計画通り進めればよい」という人が半数弱で、さらに「現在の計画より早く進めるべきだ」という人が約4割でした。

下水道事業を進めることに対して、概ね住民の皆さんの総意が得られていることが分かりました。

全体計画区域のように、下水道の整備時期が遅い区域ほど、「現在の計画よりも早く進めるべきだ」と思っている人の割合が高く、「現在の計画通り進めればよい」という人の割合が低い結果となりました。

- アンケート調査の自由回答では、「下水道事業を早く進めて欲しい」という意見や「地域内で整備に差があるのは不公平である」との意見があげられました。

(アンケート調査自由意見より)

- 下水道事業を早く進めて欲しい／斑鳩町の下水道事業は遅れている、遅すぎる／整備に時間をつけすぎないようにしてほしい
- 整備地区と未整備地区の不公平感が大きい／事業開始時期に町内で差があるのは不公平だ
- 効果的な順序で下水道整備を進めて欲しい

【意見交換会より】

- 周辺市町村に比べて事業が遅れることについての不満があげられました。

■ 下水道事業の情報提供内容

アンケート調査結果、意見交換会いずれにおいても、「整備順位をどのように決めたか」、「事業認可区域や全体計画区域でも具体的にいつ利用できるのか」など、現在の情報よりさらに具体的で詳細な情報提供を求める意見があげられました。

P I 結果から得られた今後の課題

● 下水道の整備時期等に関する情報提供についての課題

- これまで、工事開始前の地域を対象に説明会を行ってきましたが、それ以外の予定地域に対する詳細な情報提供がなされていないという意見があげられました。
- 今後は、いかに詳細な情報を適切な時期に提供していくかが課題であることが分かりました。

● 下水道事業の進め方についての課題

- 現在、斑鳩町では整備段階に応じて、平成23年度までに利用開始予定の事業認可区域、平成24年度以降利用開始予定の全体計画区域に分けて下水道整備を進めてきました。
- しかし、整備の遅い地域ほど早期着手への希望が強く、今後はいかに事業を早く進めていくかが課題であることがわかりました。

この結果を踏まえて、今後は次のように事業を進めていきます。

今後の進め方

■ 下水道事業について具体的で詳細な情報提供

・ 下水道の整備時期等について、具体的で詳細な情報提供に努めていきます。

一事業の進め方等について、詳細な情報が欲しいという住民の皆さんからのご要望に応えて、これまでの工事開始前の地域を対象にした説明会に加えて、広報紙で住民の皆さんに整備予定期等についてお知らせしていきます。

また、利用可能な時期、接続の必要性、接続にかかる費用、下水道利用開始に向けて各家庭で準備していただくことなど、具体的な情報を提供していきます。

■ 下水道整備のさらなる推進

・ できるだけ早く、多くの住民の皆さんに下水道を利用していただけるよう、効率的に整備を進めていきます。

一下水道整備をもっと早く進めてほしいという住民の皆さんのお見を踏まえて、コスト縮減などを含めた整備を効率的に進めるための方策を検討していきます。

2. 費用負担（加入負担金や下水道使用料）について

加入負担金や下水道使用料の金額について

今回のPIでは、加入負担金及び下水道使用料の金額について、住民の皆さんに情報を提供すると同時に、その情報が皆さんにどの程度伝わっているかを把握するため、質問にお答えいただきました。

PI実施結果から

【アンケート調査結果より】

■ 加入負担金の金額（一戸あたり10万円）を知っているかどうか

以前から知っていた	25.4%
パンフレットを見るまで知らなかつた	72.6%

(3区域合計:997人)

「以前から知っていた」人の割合は低い水準にとどまっており、金額に関する情報が充分に伝わっていませんでした。

■ 下水道使用料（1m³あたり120円）を知っているかどうか

以前から知っていた	10.5%
パンフレットを見るまで知らなかつた	85.3%

(3区域合計:997人)

「以前から知っていた」人の割合は、加入負担金の金額を知っていた人よりもさらに低い水準にとどまりました。

【意見交換会より】

- 意見交換会でも、加入負担金が10万円であることを初めて知ったという意見があげられました。

加入負担金や下水道使用料設定の考え方について

加入負担金及び下水道使用料の必要性や考え方等についての情報を住民の皆さんに提供し、それぞれの金額についてどのように評価されているかをうかがいました。

PI実施結果から

【アンケート調査結果より】

■ 加入負担金の金額についてどう思うか

(3区域合計:997人)

理由や考え方方が分かったので、10万円は安いと思う	2.2%
理由や考え方方が分かったので、10万円は妥当だと思う	28.2%
理由や考え方方は分かるが、10万円は高いと思う	52.0%
理由や考え方方に納得できず、10万円は高いと思う	12.9%

理由や考え方方は分かる **82.4%**

「理由や考え方方は分かる」という人が「理由や考え方方に納得できない」人を大きく上回りました。

■ 下水道使用料の金額についてどう思うか

(3区域合計:997人)

理由や考え方方が分かったので、120円は安いと思う	6.4%
理由や考え方方が分かったので、120円は妥当だと思う	53.6%
理由や考え方方は分かるが、120円は高いと思う	29.2%
理由や考え方方に納得できず、120円は高いと思う	5.6%

理由や考え方方は分かる **89.2%**

【意見交換会より】

■ 加入負担金の根拠についての説明

- 加入負担金を負担しなければならない理由や、10万円の根拠の詳細な説明が求められました。

PI結果から得られた今後の課題

● 加入負担金、下水道使用料の認知状況についての課題

- 斑鳩町では、これまで加入負担金や下水道使用料の金額について、広報紙や斑鳩町のホームページ、説明会等でお知らせしてきましたが、PI結果では「パンフレットを見るまで知らなかつた」人が多く、今後はどうやって多くの住民の皆さんに料金設定を知っていただくかが課題であることがわかりました。

● 加入負担金、下水道使用料についての情報提供についての課題

- 斑鳩町では、これまでにも加入負担金や下水道使用料の必要性と根拠について、広報紙や説明会、斑鳩町のホームページ、パンフレット等で住民の皆さんにお知らせしてきました。
- しかし、これまでの説明では、加入負担金や下水道使用料の必要性と金額設定の根拠などを住民の皆さんに理解していただくには、情報が少なく分かりやすさに欠けているとの指摘をいただきました。
- 今後は、これらの事柄について、住民の皆さんにとって分かりやすく、今まで以上に詳細な情報をいかに提供していくかが課題であることが分かりました。

この結果を踏まえて、今後は次のように事業を進めていきます。

今後の進め方

■ 加入負担金、下水道使用料についての詳細で分かりやすい情報提供

- 加入負担金や下水道使用料の必要性や金額設定について、できるだけ詳しく分かりやすい情報提供を行い、より多くの皆さんにご理解いただけるよう努めています。

—加入負担金、下水道使用料とともにまだ住民の皆さんに的確な情報が伝わっていないというPI結果を踏まえて、加入負担金や排水設備工事費などの接続にかかる費用や下水道使用料の金額設定等について、詳しい情報を広報「いかるが」やパネル展示等でお伝えしていきます。

—また、加入負担金や下水道使用料がなぜその金額になるのか、なぜ負担していただかなくてはならないのか等、住民の皆さんのがお持ちの疑問に対して、できるだけ分かりやすい情報提供を行い、より多くの皆さんにご理解いただけるよう努めています。

3. 下水道への接続について

未接続の方々の接続意向について

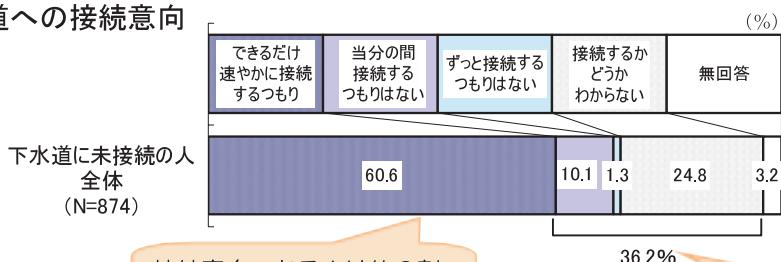
下水道が有効に機能するためには、利用可能な区域の住民の皆さんに接続していただくことが必要です。せっかく、下水道ができても、皆さんに接続していただかなくては、汚水の一部がそのまま川や海に流れ出するため完全に汚水を処理することができず、充分に下水道の効果を発揮することができません。

今回のPIでは、今後、より多くの住民の皆さんに接続していただき、下水道の効果を充分発揮させるための方策を検討するため、利用可能区域で未接続の方々や事業認可区域と全体計画区域の住民の皆さんに今後の下水道への接続意向をうかがいました。

PI実施結果から

【アンケート調査結果より】

■下水道への接続意向



接続意向のある人は約6割でした。

接続するつもりがなかったり、接続するかどうかわからない人が4割弱でした。

【意見交換会より】

■未接続の人についての問題点

- ・意見交換会では、未接続の人が加入負担金を支払わないことによって、計画通りに事業が進まなかつたり、下水道の浄化効力が低減することを懸念する意見があげられ、対応策の必要性が求めされました。

より多くの人に接続していただくための方策について

今回のPIでは、より多くの住民の皆さんに下水道に接続していただくための有効な方策を検討するため、未接続の方が接続するつもりのない理由や接続する上で障害となる事由についてうかがいました。

PI実施結果から

【アンケート調査結果より】

■下水道に接続するつもりがない、接続するかどうか分からぬ理由

(接続するつもりがない人:316人)

- ・加入負担金が高くて払えない
 - ・浄化槽を利用しているので必要性を感じない
 - ・水洗トイレへの改造資金がない
 - ・まだ先のことなのでわからない
- | |
|-------|
| 35.1% |
| 33.5% |
| 13.0% |
| 36.1% |

接続していただく上で障害となっていることは大きく2つのケースがあることが分かりました。

「加入負担金が高くて払えない」のように経済的理由で接続できないケースと、「浄化槽を利用しているので下水道の必要性を感じない」ケースです。

(アンケート調査自由意見より)

- ・排水設備の接続費用について、既に接続した人の事例を紹介して欲しい。
- ・もっと早い時期から住民にきめ細かな情報を提供すべきだ。

利用しやすい資金制度や免除制度の必要性が指摘されました。

【意見交換会より】

■利用しやすい資金制度

- ・融資あつせん制度そのものは良い制度だが、連帯保証人が必要な点など実際には利用しにくい条件となつてるので、配慮してほしいとの意見があげられました。

■高齢者に対する加入負担金の免除制度

- ・独居の高齢者など、加入負担金10万円を支払うのが厳しい家庭もあると思われる所以、そのような家庭に対する免除制度があるとよいとの提案がなされました。

P I 結果から得られた今後の課題

● 未接続の人についての課題

- ・ 斑鳩町ではこれまで、広報紙や説明会等で、住民の皆さんに対して下水道へ接続していただくよう呼びかけてきました。
- ・ PI結果では、6割以上の人々に接続の意向が見られましたが、残り4割弱は接続するつもりがなかったり、接続するかどうか分からないと答えており、今後、接続の障害となっていることをいかに解消し、接続していただくかが課題であることが分かりました。

● 下水道接続についての課題

- ・これまで斑鳩町では、より多くの住民の皆さんに接続していただけるように、「融資あっせん制度」や「浄化槽雨水貯留施設転用補助金制度」を設けてきました。
- ・しかし、PI結果からは、これらの制度を必要とする方にとって、利用しにくい面があるとの指摘もなされました。
- ・今後は、既存の制度を有効に利用していただくと同時に、接続が困難な方のために各種制度をどうしていくかが課題であることが分かりました。

この結果を踏まえて、今後は次のように事業を進めていきます。

今後の進め方

■ 下水道に接続していただく必要性等について積極的に情報提供

- ・接続するつもりがない、接続するかどうか分からぬ、という人が大勢いらっしゃることから、より多くの住民の皆さんに接続していただけるよう、今後も下水道への接続の必要性等について、積極的に情報提供していきます。

ー接続の障害となっていることとして、「①加入負担金の支払いなど経済的な問題」と、「②必要性を感じない人が多いなど、下水道の意義について充分な情報が伝わっていない問題」があげられます。これを踏まえて、今後も接続の障害を解消するために、情報提供の充実を図っていきます。

ー現行の融資あっせん制度や浄化槽雨水貯留施設転用補助金制度を、より多くの住民の皆さんに利用していただけるよう、今後も制度内容について広報紙等で情報提供していきます。

■ 多くの住民の皆さんに接続していただくための方策の検討

- ・加入負担金を払えないなど経済的な理由や個々の家庭の事情等により、接続が困難な方に接続していただくための方策を検討していきます。

ー現行の融資あっせん制度については、より多くの住民の皆さんに利用していただけるよう、制度内容を検討していきます。

4. 下水道の必要性について

今回のPIでは、実際に下水道に接続した住民の皆さんが下水道をどのように評価されているか、また、対象者全員に他の汚水処理施設と費用比較した上での下水道の必要性について意見をうかがいました。

PI実施結果から

(アンケート調査結果より)

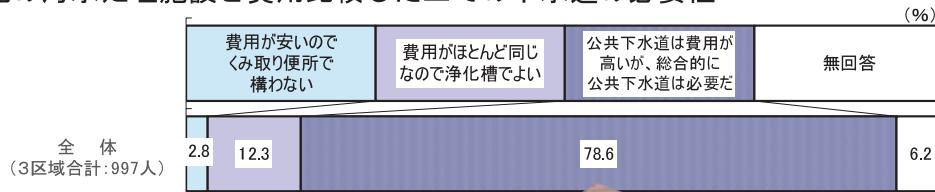
■ 下水道に接続して良かった点

(下水道に接続した人:116人)

- ・浄化槽からの臭いがなくなった 35.3%
- ・衛生状態の改善など、自宅周辺の環境が良くなった 26.7%
- ・排水管の維持管理が楽になった(しなくてすむようになった) 23.3%

「浄化槽からの臭い」や「周辺環境の改善」などを良かった点としてあげる人が多く、衛生面での効果について評価する意見が多いことが分かりました。

■ 他の汚水処理施設と費用比較した上での下水道の必要性



(意見交換会より)

■ 下水道の必要性について

- ・意見交換会では、住民全員が周辺環境浄化のためにも下水道の意義や必要性を考え、住民と行政が協力して負担していくことが必要だと意見があげられました。

PI結果から得られた今後の課題

● 下水道の必要性を理解していただくことについての課題

- ・これまで斑鳩町では下水道の果たす役割について、身近なところでは「水洗トイレが使えるようになる」、「浄化槽がいらなくなる」、町全体で考えると、「清潔な町になる」、もっと広い地域の環境を考えると「川や海の水がきれいになる」といった情報をホームページや「広報いかるが」で提供していました。
- ・下水道の必要性は多くの住民の皆さんに理解されていることが分かりました。しかし、浄化槽やくみ取り便所でもよいと考える方も少なくないことを踏まえて、下水道の意義や必要性について、さらなる情報提供が課題であることが分かりました。

今後の進め方

■ 下水道の必要性について、さらなる情報提供

- ・PI結果では、下水道の必要性や効果について概ねご理解をいただきましたが、一部に必要性を感じない人がいることも踏まえて、今後もさらに住民の皆さんに情報提供を行い、一人でも多くの方にご理解いただけるよう努めていきます。

- 「浄化槽からの臭いがなくなった」と「周辺環境の改善」などが、既に接続された住民の皆さんに評価されていることを踏まえて、接続の効果について、接続された住民の皆さんのご意見などを交えながら、より具体的で詳しい情報を伝えします。
- 下水道に接続していただくことの意義や必要性について住民の皆さんに理解していただくために、今後も合併浄化槽やくみ取り便所と下水道の比較データ等、分かりやすい情報を提供していきます。